

平成 29 年度サービス第三者評価（公益社団法人 全国有料老人ホーム協会）

法人名	株式会社 生活科学運営			ホーム名	シニアハウス長居公園			ID	2925
		評価機関	株式会社 ケアシステムズ				評価日	2017/12/21	
スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価	
1.1.1	B	A	2.3.3	A	A	6.1.2	A	A	
1.1.2	B	A	2.3.4	A	A	6.1.3	A	A	
1.1.3	A	A	2.3.5	A	A	6.2.1	A	A	
1.1.4	A	A	2.3.6	A	A	6.2.2	A	A	
1.2.1	A	A	2.3.7	B	A	6.2.3	A	A	
1.2.2	A	A	2.3.8	非該当	非該当	6.2.4	A	A	
1.2.3	A	A	2.3.9	A	A	6.2.5	A	A	
1.3.1	B	A	2.3.10	A	A	6.2.6	A	A	
1.3.2	A	A	2.3.11	A	A	6.2.7	A	A	
1.3.3	A	A	2.4.1	A	A	6.2.8	A	A	
1.4.1	B	A	2.4.2	A	A	6.2.9	A	A	
1.4.2	A	A	2.4.3	A	A	6.3.1	B	B	
1.4.3	A	A	2.4.4	A	A	6.3.2	B	B	
1.4.4	A	A	2.4.5	A	A	6.3.3	C	C	
1.4.5	B	A	2.4.6	A	A	7.1.1	A	A	
1.4.6	B	A	3.1.1	A	A	7.1.2	A	A	
1.4.7	A	A	3.1.2	A	A	7.2.1	A	A	
1.4.8	A	A	3.1.3	B	B	7.3.1	A	A	
1.5.1	A	A	3.1.4	A	A	7.3.2	A	A	
1.5.2	A	A	3.1.5	A	A	7.3.3	A	A	
1.5.3	A	A	3.1.6	B	A	7.3.4	A	A	
2.1.1	A	A	3.1.7	A	A	7.4.1	A	A	
2.1.2	A	A	4.1.1	B	B	7.4.2	A	A	
2.2.1	A	A	4.1.2	A	A	7.4.3	A	A	
2.2.2	A	A	4.1.3	A	A	7.4.4	B	B	
2.2.3	A	A	4.1.4	A	A	7.4.5	A	A	
2.2.4	A	A	4.2.1	A	A	7.5.1	A	A	
2.2.5	A	A	4.2.2	A	A	7.5.2	A	A	
2.2.6	A	A	5.1.1	A	A	7.5.3	A	A	
2.2.7	A	A	5.1.2	A	A	7.5.4	A	A	
2.2.8	A	A	5.2.1	A	A	7.5.5	A	A	
2.2.9	A	A	5.2.2	A	A	7.5.6	A	A	
2.2.10	A	A	5.2.3	A	A	7.5.7	A	A	
2.2.11	A	A	5.2.4	A	A	7.6.1	A	A	
2.3.1	A	A	5.2.5	A	A	7.6.2	A	A	
2.3.2	B	A	6.1.1	A	A	7.6.3	A	A	

評価機関所見

◆優れた取り組みと思われる点	
スケールNo.	所 見
1-1-3	リスク予防推進会議の定期的な開催をはじめ、リスク要因と顕在化した場合の影響、評価、対策の開始時期などが網羅されたリスク洗い出し・対策シートによってリスクマネジメントに関する職員への注意喚起を促している。個人情報の取り扱い、不審メールなどによるウィルス感染などについても毎年見直しを行いハウス長会議で報告をするなど、きめ細かい取り組みが定着している。また、個人情報が含まれる書類データについての管理基準を細かく定めており、廃棄方法なども明示して確実な管理がなされている。さらに、「保存情報資産リスト」では、情報資産ごとに管理状況、保存理由、保存形態、保存場所、保存期間、保存情報へのアクセス制限などが細かく規定されており、年1回更新している。
2-3-1	職員の確保については法人理念に共感できる有資格者を優先とし、さらに無資格者であっても業務が行える生活支援スタッフ職を設けて取り組んでいる。それらの取り組みによって、有資格者は専門分野の業務に専念出来たり、業務負担の緩和や分散につなげたり、地域の意欲ある人材にも門戸を広げることに繋がっている。さらに、法人として技能実習生の確保にも取り組んだり、ノーリフティングのためロボット化なども進めたりしている。様々な取り組みによって、手厚い支援体制が定着されている。
2-3-4	個別支援を円滑に実施することを目的に、意向や要望を適宜聞き取ったり、食事に関するアンケート調査を実施したりして、利用者一人ひとりの個別対応マニュアルの作成につなげている。職員間の情報共有がなされ、標準化した支援が提供出来るようにしている。また、状況が変化した際には随時追記し、常に最新情報を把握共有できるようにしている。家族とも適宜連携を図り、同意を得ながら対応する仕組みが整っている。
4-2-2	1階食堂では、新年祝賀会・幼稚園交流・夏祭り・勤労の日交流会・納涼祭・重陽の節句・文化祭・クリスマス会等の季節の行事を開催しており、入居者同士や地域の人々との交流する機会としている。また、入居者の声を受けて、1階食堂の名称も「さわやかサロン」に命名するなど、雰囲気作りにも取り組んでいる。さらに、自立度の高い入居者に向けては、お菓子とお茶を飲みながら会話を楽しむ「女子会」を開催し、他の入居者や職員とのコミュニケーションを図る機会を提供している。各行事は起案書を提出の上で実施され、終了後は報告書に実施内容や課題等を記載する仕組みも整っている。
5-1-1	食事を楽しんでもらう取り組みとして、月・水・金の夕食は「肉と魚の選択メニュー」を提供しているほか、月1回は「ご当地料理」として、各地の郷土料理を提供している。また、お好み焼き・たこ焼き作りを一緒に行ったり、冬には鍋料理を提供したりして、楽しんでもらうメニュー作りに取り組んでいる。さらに、勤労感謝の日・クリスマス会などの行事には特別メニューを提供し、お正月には「おせち弁当」を家族の分も申し込んでもらい、新年の食事を家族とともに楽しんでもらえるように取り組んでいる。

◆さらに取り組むことで、より質の向上が可能と考えられる点	
スケールNo.	所 見
2-1-2	ホーム全体の中期計画や年間計画をはじめ、食事・生活・介護等の業務部門については年間の事業目標を策定し、毎月の振り返りに取り組んでいる。さらに、個々の業務部門については目標に加え、実施計画（アクションプラン）を整備することも望まれる。目標達成の観点からは、年度計画をもとに定期的に進捗を管理して進めていくことが必要とされる。担当職員の指針にもなることを踏まえ、実施計画の策定を検討されたい。
6-3-2	研修計画は法人主体となっており、職員は計画的に受講して介護に必要な知識や技術を学ぶ機会が得られている。ただし、認知症対応等の専門的な研修に関しては、法人での開催や外部研修の受講等に至っていない。入居者の高齢化や重度化に向けて、職員が専門的な知識や技術を学ぶための取り組みに期待したい。